

# サイバネティックアバターによる大阪・関西万博での長期実証実験

## 概要

サイバネティック・アバター（CA）が、大阪・関西万博シグネチャーパビリオン「いのちの未来」を案内・誘導します。CAの長期間運用技術実証と、パビリオンを通じてアバター共生社会を疑似体験した来場者を対象としてCAの社会受容性調査を実施しています。

## 特徴

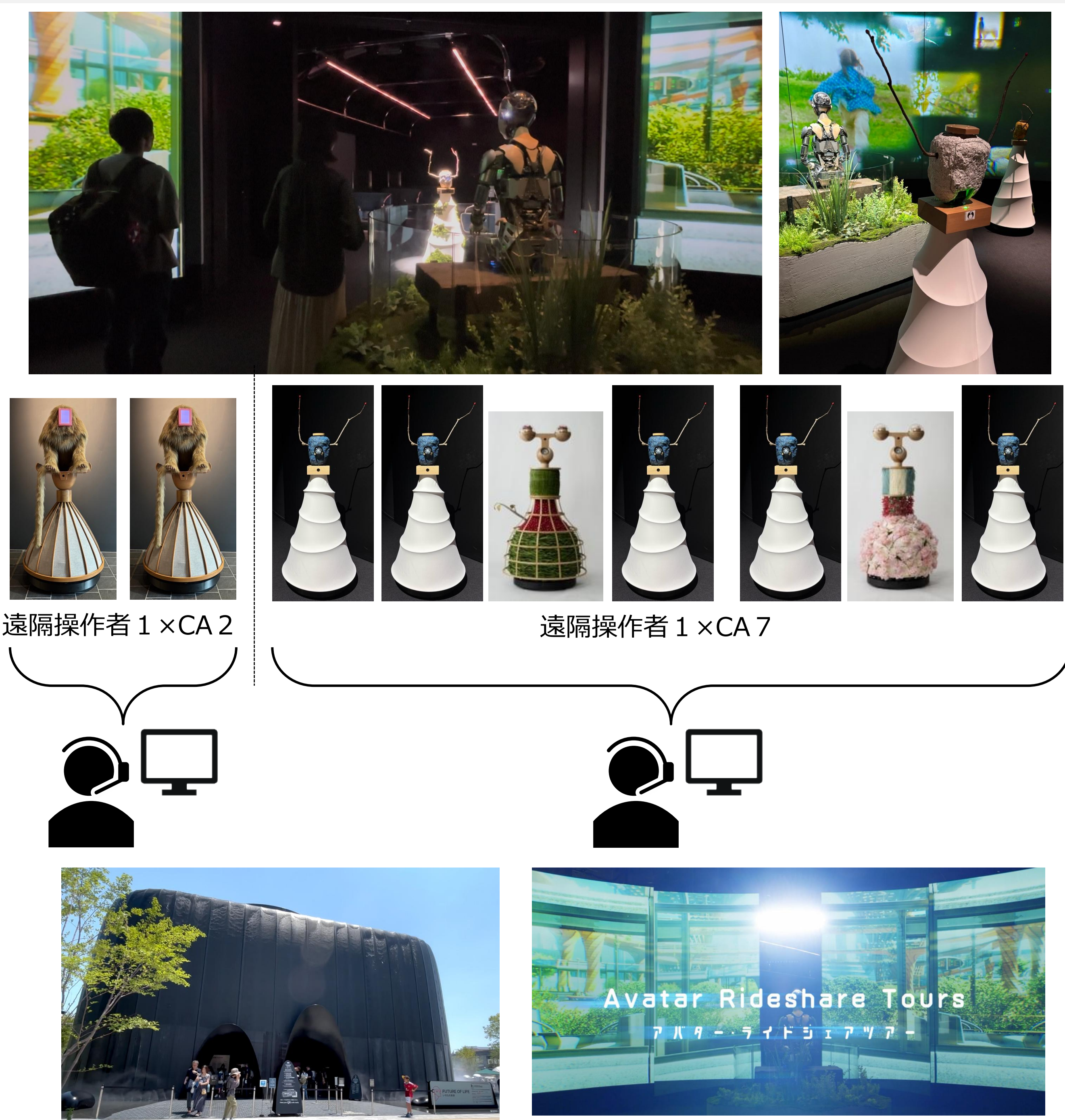
- 大阪・関西万博シグネチャーパビリオン「いのちの未来」（テーマプロデューサー：石黒 浩 客員特研所長）のコンセプトにあわせた移動型CAを、パビリオン内の様々な機器と連携させるシステムとともに開発しました。
- 開発したCAによる「いのちの未来」パビリオン来場者の案内・誘導を万博全期間（2025年4月13日から2025年10月13日まで、全184日間）で実施しています。
- このCAによる案内・誘導を通じて、CAおよびCAを遠隔操作する基盤システムの長期間運用による技術実証と、CAを活用する社会の疑似体験をする来場者を対象としたCAの社会受容性調査を実施しています。

## 今後の展開

- 大阪・関西万博での長期実証実験の結果を受けて、さらなるブラッシュアップを行ったCAのシステム、ハードウェア、およびソフトウェアを、関連する研究機関や企業のみなさまに提供し、アバター共生社会の社会実装を進めます。

## テーマ「社会課題と向き合う科学技術の最前線」との関連

- アバター共生社会プロジェクトでは、身体・認知的能力、時間、空間などの制約から社会参加に難しさを感じている全ての人々が自在に活躍できる社会を目指し、そのための技術・運用方法・社会制度の研究と社会実装を進めています。



遠隔操作者 1 × CA 2

遠隔操作者 1 × CA 7

株式会社国際電気通信基礎技術研究所  
深層インタラクション総合研究所

インタラクション技術バンク／インタラクション科学研究所

担当 宮下 敬宏 E-Mail: miyasita@atr.jp

本研究は、JSTムーンショット型研究開発事業、JPMJMS2011 の支援を受けたものです。